

# 博物館展示の利用者行動観察

## —大阪府立弥生文化博物館のリニューアル前後の事例—

一 瀬 和 夫

### 1. はじめに

関西大学「博物館実習」では、この3年間は継続して、「展示開発ワークショップ」を行った後、「製作途中評価」の内の「利用者の行動観察」実習を大阪府和泉市大阪府立弥生文化博物館（以下、弥生博）展示室において実施している。さらに、この展示開発にかかわる授業は、ここ2年は春に行動観察、秋は大学の実習展の直後に、実習で得た教員の講評をもとに「自己の展示点検」の話し合いとともに、春に調査した観察の「展示評価と改善」を考えるプログラムを行っている。

予期せずではあるが、1991（平成3）年に開館した弥生博の常設展示室が、昨年2015年4月にリニューアルされた。つまり、本行動観察実習は、リニューアルの前とその後に出会うことができたわけである。また、一昨年は実習日が特別展会期中ではなかったが、その前の秋季特別展と今年度の春季特別展を調査し得たことから、それらを相互に比較するデータも蓄えられることになった。毎年、観察者である学生履修生が入れ替わり、量も質も不安定な調査条件とはなるのだが、この改革期にあった博物館の展示フロアにおける行動変化の推移を考える上での一助となる比較データが呈示できればと考え、それら調査成果をこの場を借りて報告する。

### 2. 利用者行動観察の位置づけ

博物館の展示が、資料重視型から利用者重視型に変わってから久しい。

展示を開発するためには、利用者に対してのマーケティングやリサーチは必要不可欠なものとなった。利用者を展示にひきつける接点を見極め、展開する展示プランについての確信を得ることが重要であり、それは展示での自信につながる。とはいうものの、実際には、これは自分では完全だと思ってプランした展示計画が、いかに利用者からパッシングされているかという現実を確認するよい機会なのである。展示開発者が、より客観的に、いかに利用者が納得できる展示を築き上げていくかを測るには、第三者の評価（エバリュエーション）は有効な手段の一つである。これを行う方法としては、アンケートなどの記入、個別的な段階評価、インタビュー、行動観察、達成度テスト、フォーカスグループ、特別調査といったものがある。

このうち、本実習は展示の準備段階／製作途中評価に用いられることが多い行動観察を行っている。これは、ひきつける・保持する・手順の・コミュニケーションの・感動的な、という5つの力を測ることが主たる目標である。利用者をターゲットにするのだが、獲得目的は3つに分か

れる。1. 利用者は誰か（年齢、言語）。2. 利用者は何をするか（言語・質問・回答）。3. 利用者は何に無関心か（利用者の合格でなく展示の合格：パッシング）である。

### 3. 博物館実習での実施プログラム

こうした行動観察には、サンプルとして利用者が必須事項である。アメリカ合衆国の調査実績からすれば、500サンプルで所見が安定するとする。実習内時間では困難な数字だが、それでも、観察行為そのものは利用者行動を考える上で、いくらかの示唆にとんだヒントを含んでいるであろう。そして、何よりも実習生が実際に調査体験できるという刺激と利用者を観察することで思考をめぐらし、違った側面や視野から博物館展示をみつめることができるはずである。

実習では、2013年11月24日、2014年7月6日、2015年6月7日の3年間、連続で弥生博にご指導ご協力をいただいている。これ以前にもお世話になっており、記して感謝する次第である。

この行動観察は、授業項目では利用者行動調査を来館者動態調査と呼んでいる。まず、山口卓也氏作成の平成27年度6月7日に行った博物館実習見学案内文を紹介する。

班構成は、実習生が53名であり、1組・金曜日、2組・土曜日と大きく2班に分かれる。この実習については全体には4細分された。

「6月7日(日)は、下記のとおりフィールドワーク（来館者の動態調査・展示評価調査）を行いますので、注意事項をよく読んで参加申込をしてください。

#### 記

- |            |  |
|------------|--|
| 1. 日 時     | 平成27年6月7日(日) 10時00分～16時00分                                   |
| 2. 調査場所    | 大阪府立弥生文化博物館（大阪府和泉市池上町4-8-27）                                 |
| 3. 時間・集合場所 | 9:50集合、大阪府立弥生文化博物館入口前 10:00～16:00 フィールドワーク（来館者の動態調査 展示評価調査等） |
| 4. 入館料     | 大学生：160円（団体料金）   |
| 5. 参加申込書   | 提出場所：博物館事務室（受付時間 9:00～17:00）<br>提出期日：6月4日(木)まで（厳守）           |

なお、授業内での展開の実施にあたっては、「見学実習 大阪府立弥生文化博物館のフィールドワーク ―来館者の動態調査・展示評価調査授業について―」と題した説明文を配布しているが、その内容は以下のようなものである。

「大阪府立弥生文化博物館は、常設第1・2展示室と特別展示室の3室があります。今回の調査は、弥生文化博物館来館者の館内での動態調査を行い、その展示評価の方法を実習します。見学実習「大阪府立弥生博物館」のフィールドワークは、以下のように進めます。

#### [スケジュール]

- |             |        |
|-------------|--------|
| 10:00-11:00 | ガイダンス  |
| 11:00-15:00 | 調査     |
| 15:00-16:00 | 報告・検討会 |

[調査の流れ]

調査は、4班に分かれて、担当する展示室でのモニターと休憩・昼食、見学時間を交替しながら行います。見学時間には、館内施設、展示、館外の池上曾根遺跡史跡公園を見学します。

第1班：金曜日A班、第2班：金曜日B班、第3班：土曜日A班、第4班：土曜日B班  
展示室のモニター実施時には、博物館実習のネームを下げてください。

[担当と時間シフト]

<午前>	11:00 - 11:30	11:30 - 12:00	12:00 - 12:30	12:30 - 13:00
第1班	第1展示室	休憩・昼食	第2展示室	特別展示室
第2班	第2展示室	特別展示室	休憩・昼食	第1展示室
第3班	特別展示室	第2展示室	第1展示室	休憩・昼食
第4班	見学	第1展示室	特別展示室	第2展示室
<午後>	13:00 - 13:30	13:30 - 14:00	14:00 - 14:30	14:30 - 15:00
第1班	第1展示室	見学	第2展示室	特別展示室
第2班	第2展示室	特別展示室	見学	第1展示室
第3班	特別展示室	第2展示室	第1展示室	見学
第4班	休憩・昼食	第1展示室	特別展示室	第2展示室

担当する展示室では、来館者から観察対象を選定し、それぞれの動態を記録します。観察対象が展示室に入ってから出るまでをモニターします。20分以内に展示室を出た場合、新しい観察対象を再度モニターしてください。

観察対象が30分間を過ぎても留まっている場合、延長してモニターを続けてください。観察対象が展示室を出るまでモニターし、その後次に担当展示室に移動して残り時間、その展示室でモニターをしてください。

休憩・昼食・見学時間には、各展示室内部の展示物やレイアウトを各自で把握し、来館者の動態がどのような展示に影響されたかを考察してください]

というものであった。

実習生には、第1展示室、第2展示室、特別展示室の平面マップを配布する。そこに利用者の行動、動線を直接観察して、記録に留めるというトラッキングという作業となる。これを、それぞれの展示室と年度でまとめたものが、図1～8となる。トラッキング（追跡）Vision Trackingは本来、トラッキング（交替要員）で3人毎のシステムを組むが、ここではそれを特に設けずに1人ずつがあたった。マップでは具体的には、展示室の主要部分を通過する利用者の動きのルート取りを要求した。それは「矢印」で示す。そしてストップ位置を「×」で記録する（Stop = ×、Go to = →）。これはどのような展示を見失っているか、主要展示を見たかなど、調査の目的とゴールを意識して調査するのである。

観察に際しては、利用者に気づかれることや不快感をあたえない。これが最も重要である。そして細部では、密着してつかない。利用者に気づかれたときは観察をやめ、他の人に移る。他に、表1～3の項目にあるように、獲得目的となるものとして、見た目の判断ではあるが、年齢、性別、個人・グループ、ストップ時間、滞在時間、備考・所見を記録するものである。

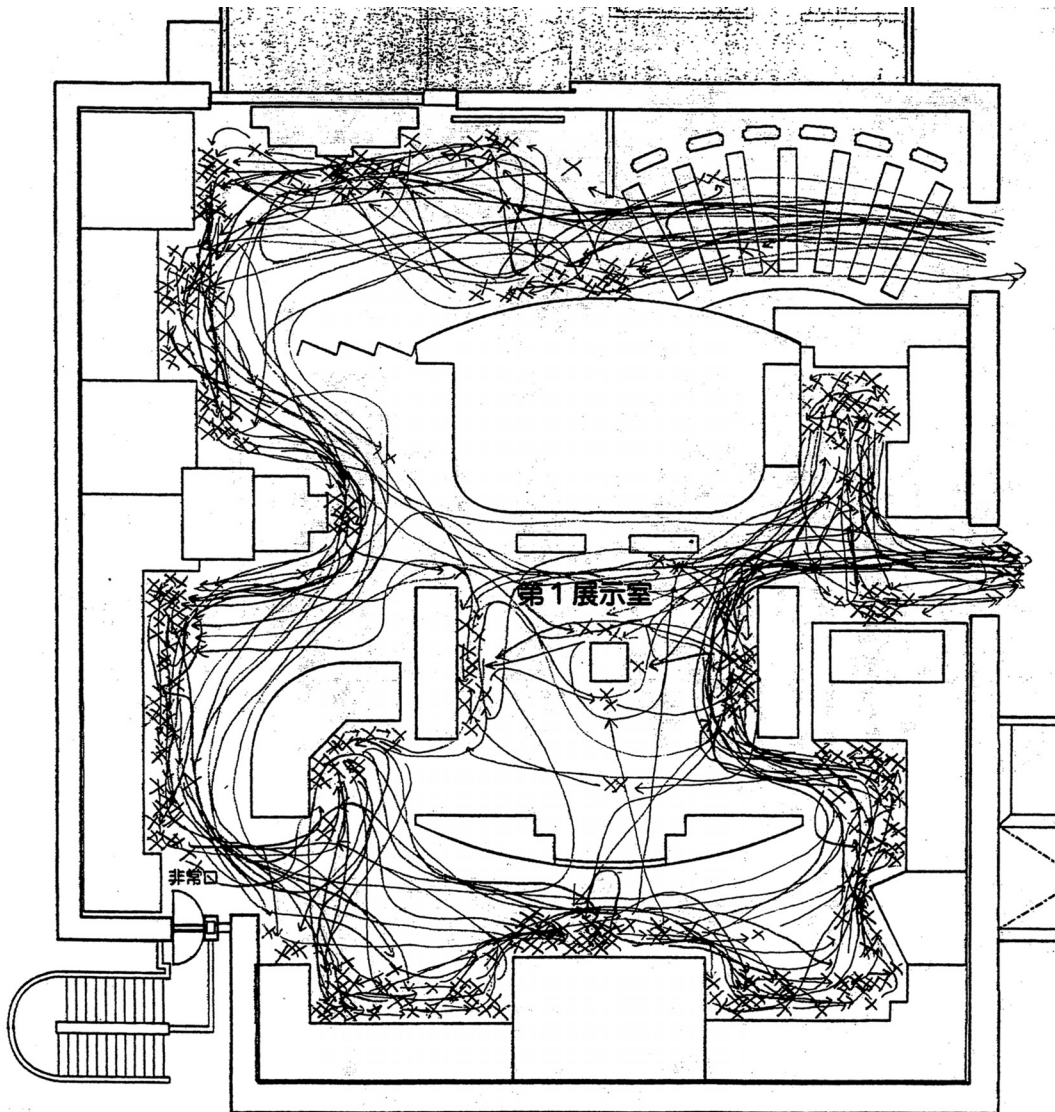


図1 第1展示室マップ (2013年)

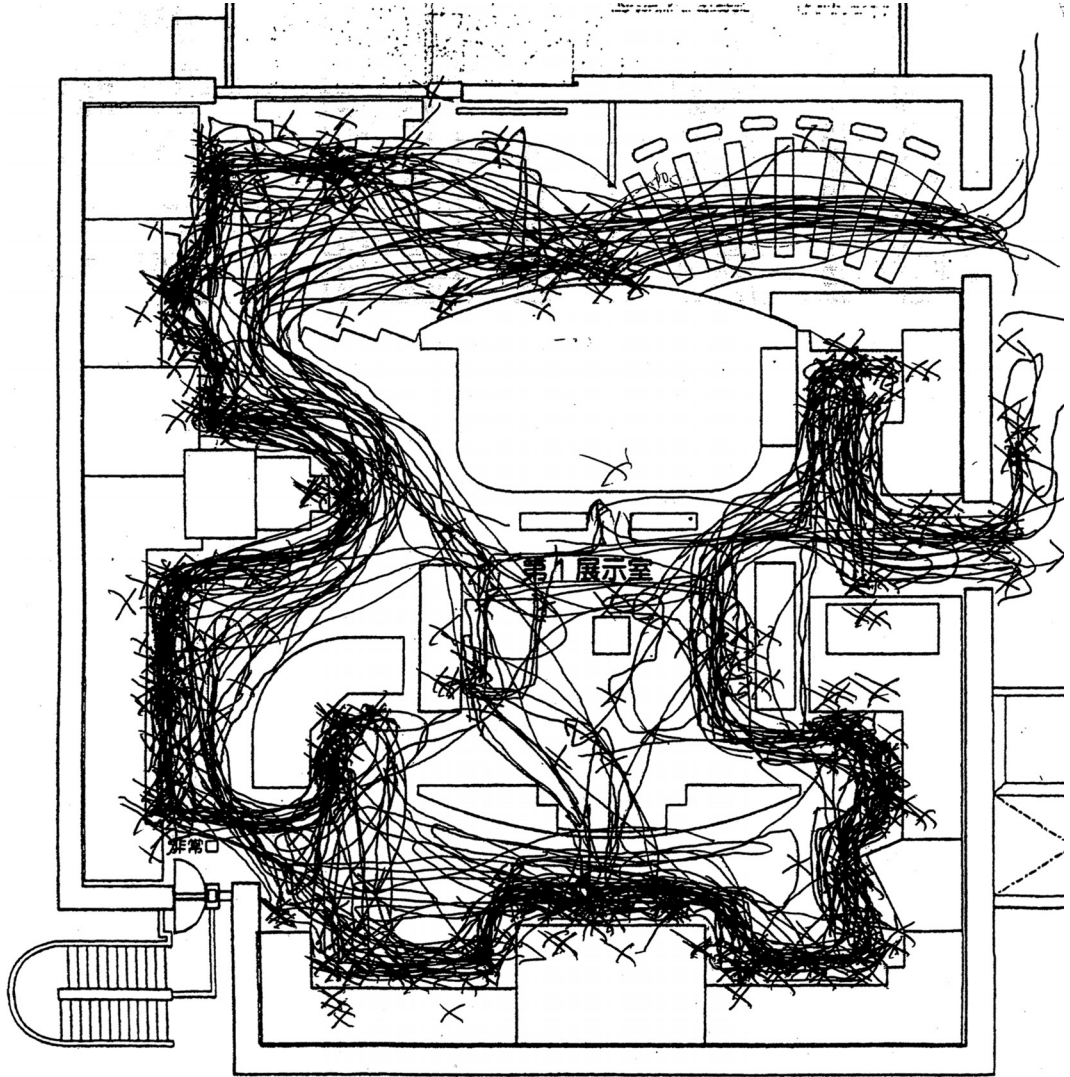


図2 第1展示室マップ (2014年)

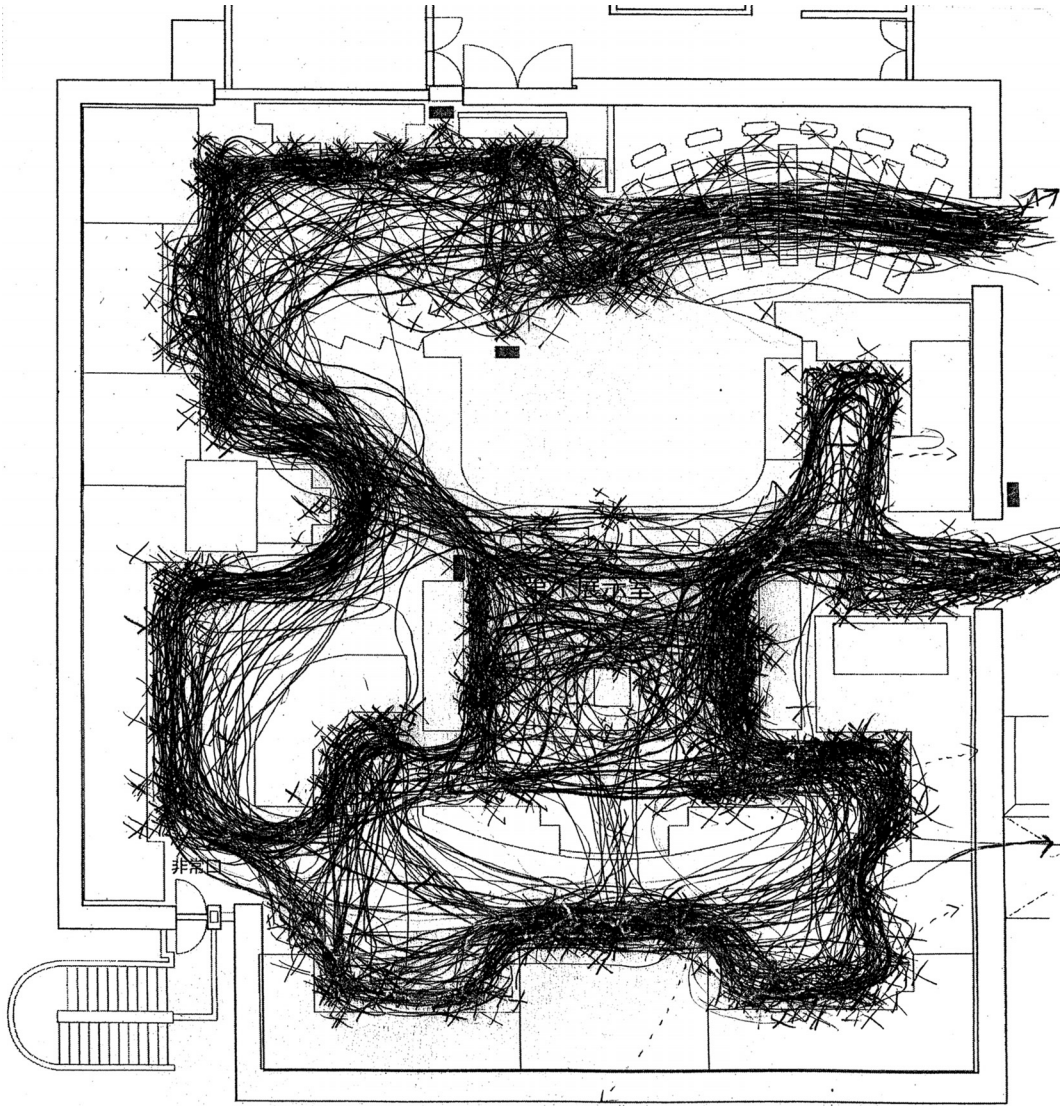


図3 第1展示室マップ (2015年)

表1 第1展示室行動観察

2013年

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
40	女	二人連れ		12:41~13:00	19	
30	男	親子 3人	531	14:07~14:20	13	
60	男	個人	439	11:17~11:28	11	
70	男	個人		14:00~14:20	20	時間切れ 20分以上
50	女	夫婦	1060	11:30~11:56	26	
50	男	夫婦	520	11:20~11:35	15	
60	男	夫婦	450	12:44~12:55	11	途中で観覧をやめる
10	男	個人	1020	13:58~14:20	22	
18	男	友人二人連れ	1200	13:56~14:20	24	
70	女	二人連れ 30代女		不明~12:42		
70	男	家族連れ 4人	180	11:49~13:47	118	
8	男	子供 3人				
20	男	個人	700	12:03~12:15	12	映像資料を中心に観覧
75	女	夫婦	180	13:31~13:37	6	
75	男	夫婦	420	13:43~13:53	10	
60		夫婦	265	12:03~12:13	10	
60	女	個人	1242	12:09~12:42	33	
30	男	個人		12:24~12:40		
70	女	二人連れ	270	13:19~13:30	11	
70	女	親子 2人	960	12:53~13:15	22	
30	男	夫婦	300	11:25~11:49	24	
65	男	個人	44			
70	男	個人	250	13:31~13:46	15	キャプションを熟読後展示物を観察
20	女	個人	300	13:50~13:57	7	
40	男	個人	180	14:03~14:11	8	
70	男	個人		12:20~12:45	25	
70	男	個人	871	13:42~14:00	18	コンサート直前に出ていく
80	男	個人	120	14:00~14:04	4	
80	男	個人		14:11~不明		
60	男	個人	1080	12:08~12:28	20	
50	男	個人	169	13:13~13:19	6	
70	男	夫婦	585	11:34~11:55	11	
70	男	個人		11:20~11:38	18	

2014年

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
6	女	家族連れ		14:16~14:36		
6	女	家族連れ	120	14:32~14:35	3	二度目の来館
5	女	家族連れ	275	10:40~10:57	17	
8	女	親子連れ	645	15:00~15:23	23	
8	女	家族連れ		14:16~14:36	20	
9	女	家族連れ	275	10:40~10:57	17	
12	男	家族連れ	275	10:40~10:57	17	
12	女	親子 父	600	11:39~12:07	30	
14	男	家族連れ	217	14:00~14:20	20	
10	男	親子 父	600	10:35~10:55	20	
10	男	家族連れ	300	13:50~14:17	27	カメラに興味を示す 熱心に映像展示を視聴
15	男	友人	120	14:00~14:05	5	
10	男	家族連れ	70	15:16~15:18	2	
20	女	友人または家族	1020	15:00~15:20	20	外国人女性 音声案内を聞きながら拝観 途中中断
25	女	個人	180	13:50~13:58	8	
20	男	個人	1740	11:33~12:07	34	写真撮影 タブレット所持 VIP資料を全て視聴
20	男	個人	1740	11:33~12:07	34	写真撮影 タブレット所持 VIP資料を全て視聴
35	女	親子連れ		14:00~14:20	20	何度も見て回る 特に仕掛けがある物
30	女	個人		15:01~15:02	1	展示を見ていない

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
30	女	家族連れ	390	14:14~14:24	10	
30	女	家族連れ	120	14:32~14:35	3	リピーター
30	男	カップル	115	16:03~15:07	4	軽く見る程度
35	女	家族連れ	1170	14:58~15:28	23	ビデオは娘と一緒に視聴
35	男	親子連れ 息子		10:35~10:55	20	パネルを集中して見ている
40	男	家族連れ	10	14:29~14:31	2	外に妻と子を待たせ一人で入室
40	男	家族連れ	780	15:05~15:20	15	
40	男	グループ	1080	14:58~15:20	22	日本人と外国人のグループ
40	女	家族連れ		10:40~10:57	17	
40	男	親子 娘	1400	11:39~12:07		途中中断
50	男	家族連れ	1320	15:00~15:22	20	映像を中心に見る 途中中断
50	男	個人		13:50~		映像展示のみ
50	男	家族	360	13:56~14:17	21	出口から入室し、入口から出る
50	女	家族連れ	495	15:00~15:20	20	家族以外に外国人女性も同伴
60	男	個人	3600	13:50~15:25	95	

## 2015年

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
40	男	個人	360	11:23~11:35	12	「死」とまつり」のモニター視聴
30	女	家族連れ	110	14:32~14:37	5	弥生家族の展示に注目。子供が楽しめるスイッチ装置の付いた展示を楽しむ。子供の館内ラリーのイベントの付き添い。犬の人形、金印に興味。子供に説明。
60	男	家族連れ	23	14:50~14:52	2	祖父が説明しながら 道に迷っていたようで、すぐに退出。
40	男	個人				
10	男	個人				モニターのスイッチだけ入れて去る
65	男	個人		12:45~13:04	19	タッチパネル、弥生家族のところに長時間滞在 刀、食事にも注目。
40	女	家族連れ		12:51~14:13	82	音声ガイド使用 座ってタッチパネル式の映像を見る。母親は興味、子供はなし
70	男	個人	808	14:45~15:01	16	映像などよりも特に文字による解説パネルに興味
60	男	家族連れ		14:52~14:14	2	道に迷った様子
50	男	家族連れ		12:51~13:16	15	小話をしながら進む
70	女	個人	866	12:44~13:04	15	入口のパネル往復。じっくりとキャプションを読みながら展示を見る。映像視聴。中央の卑弥呼像はスルー
1790	女	家族連れ		13:09~13:41	32	母、父に質問。家族で仲良く映像視聴。機械のない時代の苦勞を考える
37	男	個人		11:15~11:20	5	
7	女	家族連れ		13:09~13:39	30	卑弥呼像前で映像を見るが途中で飽きて他の展示へ。男の子はモニターを食い入るように見る
60	女	家族連れ		14:11~14:31	20	祖母が男の子に色々説明。人形などがある所に立ち止まる展示物そのものよりジオラマや映像のところを見ている様子。祖母はゆっくり見たそうな様子
60	男	個人		12:14~12:20	6	結構速いペース。興味がある所では少し立ち止まる。出入口の展示は見ず
30	男	家族連れ		14:22~15:00	38	子供たちを撮影。映像しっかり見る 女の子2人、卑弥呼像と弥生のごはんに興味を示す。終了時刻まで観察終わらず
60	男	夫婦		14:02~14:17	15	生活の模型のパネルをさわる。映像視聴。メインの卑弥呼像スルー
40	男	グループ		12:17~12:41	24	じっくり解説を見る。パネルを開けたり映像を見たり、2人同じ速度で回る。映像少しして視聴せず
30	男	グループ		14:06~14:36	30	デジタル機材を多く触る。映像中心。途中で1人に。その後、説明中心に
30	男	個人		12:28~12:32	4	流し見 立ち止まらなかったところはあまり見ず、説明も読んでいなさそう
25	男	個人		12:17~12:18	1	友達に話しかけに來ただけ
25	男	グループ		12:23~12:25	2	2回目。パノラマを見る。4人ほどのグループに合流する
1790	男	夫婦		14:00~14:15	15	装置などを使う 話し合いながら進む。最後の方は流し見
20	男	個人		14:20~15:00	40	時間までじっくり見る。装置には触る。撮影。博物館の仕組みに興味あるのか



年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
50	男	個人		12:20~12:29	9	映像中心。目当てのものがあっただ様子。展示はほとんど止まらない
40	女	家族連れ		12:53~13:11	18	グループで回るが、たまに1人になって説明を読む。自身でさわれるパネル、映像に注目
50	男	個人		11:58~11:59	1	卑弥呼像の後ろで立ち止まったのみ
35	女	個人		13:05~13:12	7	模型のところは立ち止まらず通り過ぎる。止まる場所も多かったが、全体的に流し見。
45	女	個人		13:20~13:30	10	解説をよく読む。卑弥呼の館、長時間。滞在。館の模型全体とその前にある写真をじっくり見る。他の展示もかかんで見る
45	男	夫婦		12:34~12:41	7	流し見 ジオラマに注目
50	男	個人		13:21~13:28	7	出口から入る 卑弥呼の後ろのモニターの前でスマホ注視
30	女	個人		14:05~14:38	33	展示物をじっくり見る
35	女	家族連れ		13:08~13:25	17	友人親子と合流。「新しい技術の誕生」でパンフレット広げて作業。卑弥呼の館で子供たちと話す。金印を覗き、上の世界地図を見る
25	男	夫婦		13:26~14:05	39	タッチパネルなど積極的にさわる。1つの展示をじっくりと話し合いながら見る。卑弥呼像やスクリーンは見ず
30	男	個人		12:15~12:40	25	さわって〜というをよくしていた。1回止まると長い
60	女	個人		13:28~13:40	12	銅鏡、石器、壺を撮影
70	男	個人	660	12:46~13:03	17	入口の模型をじっくり見る
60	男	個人	700	14:46~15:02	16	邪馬台国の候補地、卑弥呼の衣装のパネルを読む。中央の展示、パネル全体に興味
50	女	個人		13:07~13:28	21	仕掛けがあるものにはとても興味。ボタンはすべて押す
50	男	夫婦		13:09~13:27	18	武器に注目。座るがモニターを見ない
60	男	個人		14:47~15:00	13	卑弥呼についてのキャプションをよく読む。時間切れ
7	女	個人		12:57~13:10	13	モニターに注目
30	女	個人		12:49~12:51	2	銅鏡、金印しか見ず
8	女	家族連れ		11:02~11:13	11	母親と回る。銅鏡に注目。映像視聴
10	女	家族連れ		13:20~13:45	25	映像を熱心に視聴 立ち止まると長い
40	男	家族連れ		13:06~13:39	33	タッチパネル、スクリーンに注目
10	女	個人		13:03~13:21	18	モニターを視聴。他の展示物もパネルをしっかりと読む カメラを用いた展示も積極的に操作 操作する刑の展示物はとつきやすそうだった
65	男	個人		13:25~13:36	11	パネルと資料を照合して観察。
9	女	家族連れ		13:10~13:21	11	親から先行して入る。パネルに注目。時々母親らしき人を探して戻る
	女	家族連れ		13:21~13:53	32	モニターに興味がある息子の付き添い
20	女	グループ	1195	11:55~12:25	30	資料とる。タッチパネルに注目。勉強しに来ている様子
50	女	個人		13:36~13:37	1	タッチパネルに注目
40	女	個人		13:40~13:44	4	パンフレット取りながら流し見
30	女	家族連れ	319	11:35~11:50	15	女の子は母親と一緒にだが男の子は自由に見て回る。ジオラマじっくり。カメラ操作
	男	個人	89	13:37~13:45	8	パンフレット見ながら回る
65	女	夫婦	660	13:35~14:05	30	男性の説明を聞きながら回る。映像やキャプションをよく見る
60	女	グループ	250	13:58~14:17	15	パネルの遺跡を見て「行ったことある」等の会話
55	男	個人	30	11:30~11:31	1	卑弥呼のレプリカまで直進し退出
25	男	グループ	780	11:54~12:50	56	スタッフの解説受ける 映像視聴
45	男	家族連れ	690	13:37~13:56	19	ボタン操作 パネルじっくり読む
35	男	グループ		13:58~14:20	22	ペース早い。指をさして展示見る。金印の反射が見えにくそうだった
30	男	個人	100	14:00~14:03	3	卑弥呼像だけ熱心に見る
4	女	家族連れ	330	9:34~9:52	18	母と一緒に解説見る
30	男	個人	420	11:52~11:59	7	卑弥呼像には目を向けず
35	男	個人	30	11:52~11:52		一瞬地図に目を向けるが流し見
35	女	個人		12:33~12:34	1	流し見。「カイトとリュウさんのやよい解説」に興味を持つ
45	女	グループ		13:56~14:16	20	具体的な遺跡名など話す。まんべんなく見る。字をしっかりと読む
8	男	家族連れ	655	11:32~11:41	9	色々さわってみるが長居しない。イヤホンガイドをつけてからはゆっくり見る

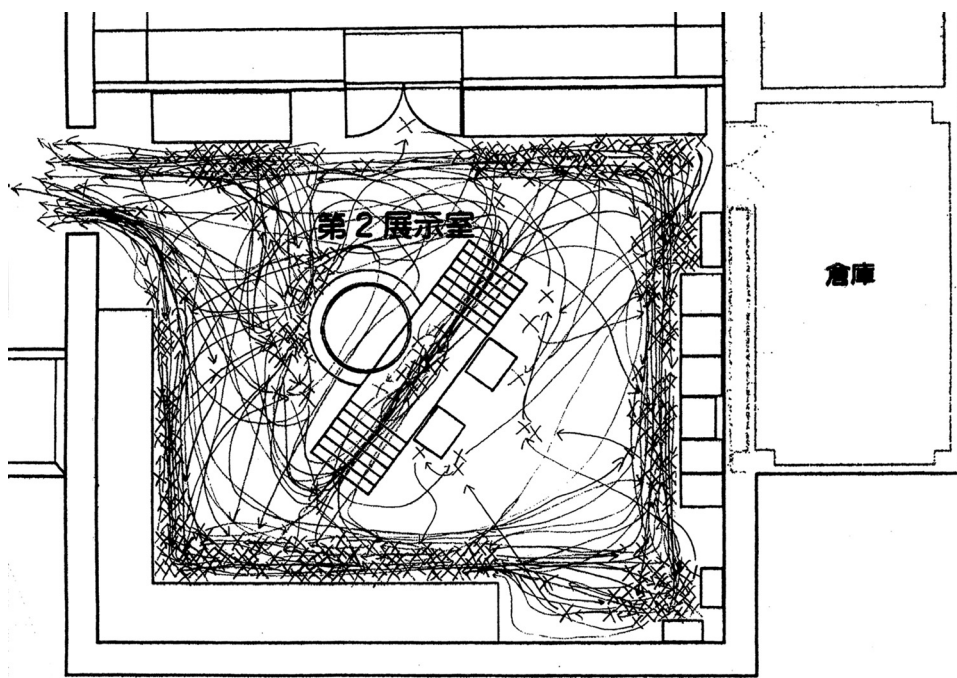


图4 第2展示室 (2013年)

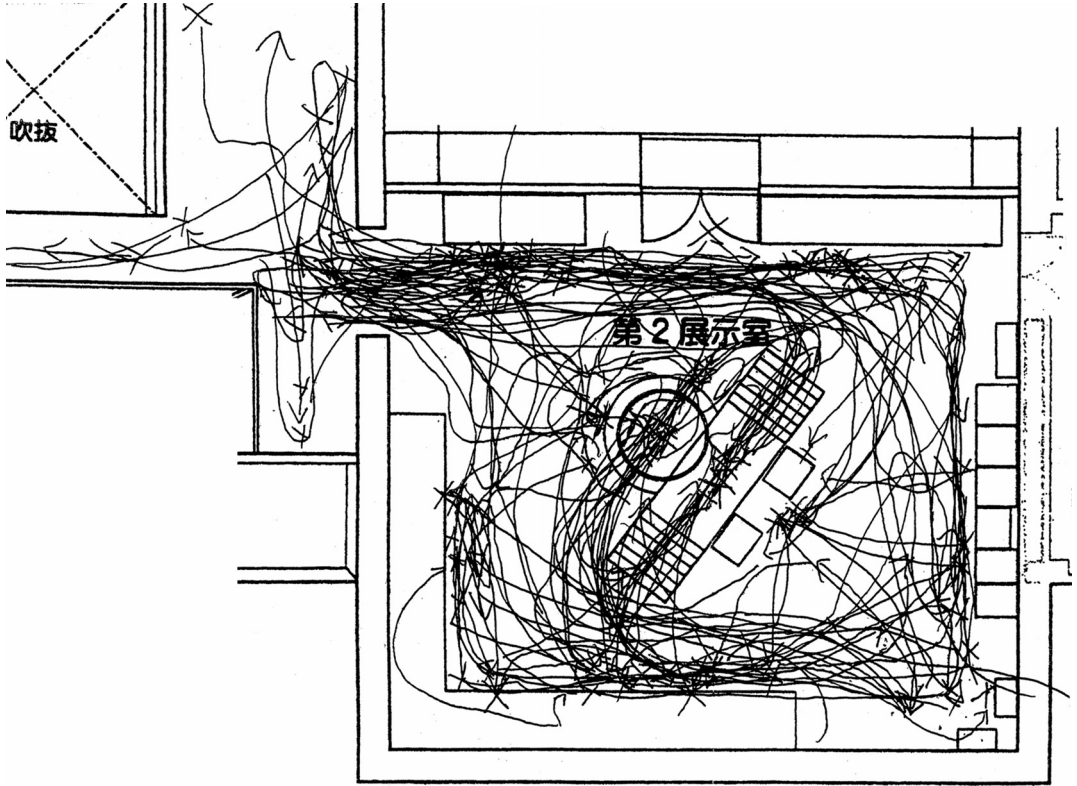


图5 第2展示室 (2014年)

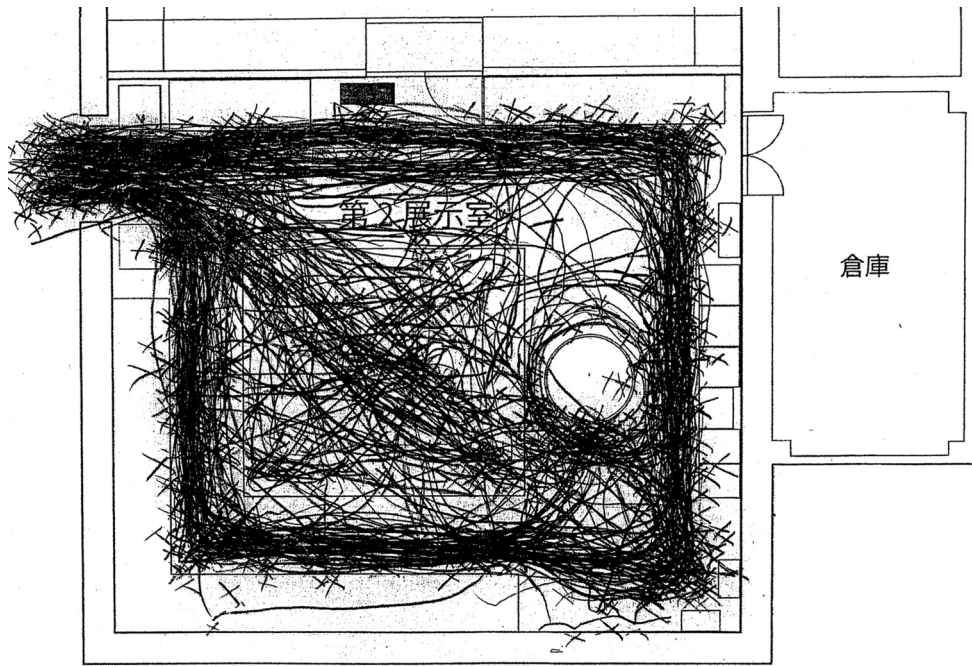


图6 第2展示室 (2015年)

表2 第2展示室の行動観察

2013年

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
70	男	夫婦				
60	男	個人				
70	女	二人連れ	65	13:37~13:41	4	雑談をしながら目に留まった物の前で少々止まる
60	男	夫婦	30	12:13~12:16	3	
20	男	個人	450	12:12~12:24	12	音声ガイド使用
70	男	個人		14:01~14:05	4	
70	女	親子	325	13:18~13:26	8	
30	女	親子 3人	85	13:25~13:27	2	子連れ 井戸を中心に観覧 キャプションは見ず
50	女	三人連れ	91	12:54~12:56	2	
60	男	個人	30	11:24~11:25	1	
40	男	個人	120	11:56~11:59	3	
80	女	二人連れ	90	13:37~13:41	4	
60	男	個人	110	13:27~13:32	5	
60	男	個人	175		5	
70	女	夫婦	213	13:19~13:26	7	
68	男	夫婦	8	12:55~12:59	4	話ながらの観覧 あまり立ち止まらず
30	男	親子 3人	252	14:10~14:16	6	
70	女	三人連れ	70	12:54~12:57	3	
40	女	個人	160	12:15~12:20	5	パンフレットを読みつつ見学
50	男			14:06~14:09	3	
10	女	二人連れ		14:16~14:17		
60	男	個人	60	13:11~13:16	5	あまり関心が無い様子 ジオラマ付近でのみ立ち止まる
6	女	親子	60	13:41~13:43	2	
16	女	親子	180	13:30~13:35	5	
26	女	親子	40	12:15~12:17	2	
60	男	夫婦	540	13:40~13:51	11	
70	女	親子	240	12:39~12:54	15	
40	女	親子	200	13:30~13:35	5	一通り見てまわる
50	男	夫婦	60	11:57~12:00	3	井戸付近で立ち止まる
60	女	個人	120	13:35~13:43	8	
50	女	夫婦	25	11:57~12:00	3	流し見
70	男	個人	60	12:29~12:31	2	
65	男	個人	80	11:40~11:42	2	白・井戸を中心に見ていた
40	女	個人		11:20~11:22	2	
70	男	個人		12:50~13:04	14	
70	男	個人	0	13:37	0,25	
60	男	祖父孫	1	13:42~13:44	2	
50	男	個人	0	13:44~13:45	1	
60	女	個人	420	12:24~12:35	11	
20	女	個人	60	13:58~14:01	3	
50	女	個人	300	14:12~14:19	7	
70	女	夫婦	92	11:13~11:18	5	キャプションのあるところのみに立ち止まる
60	男	夫婦	744	12:34~12:28	4	
70	男	個人	43	13:24~13:27	3	キャプションのみを見ている様子
70	男	夫婦	143	11:13~11:18	5	
70	男	個人	60	13:35~13:37	2	
50	女	グループ	420		15	土器・木器に興味がある模様
50	男	個人		14:07~14:15		

2014年

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
5	女	家族連れ		10:56~11:03	7	井戸に関心を持つ 親に説明してもらう
5	男	家族連れ	225	14:19~14:24	5	
6	女	家族連れ		14:38~14:40	2	
8	女	家族連れ	30	14:37~14:40	3	

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
8	女	家族連れ	40	14:40～	5	井戸に注目 クイズに反応 5分もいず
9	男	家族連れ		10:56～11:03	7	井戸に関心を持つ 親に説明してもらう
9	女	家族連れ		10:56～11:03	7	井戸に関心を持つ 親に説明してもらう
10	女	家族連れ	180	14:37～14:40	3	クイズと井戸に興味を持つ
10	男	家族連れ	50	14:19～14:27	8	
20	女	個人	30	14:00～14:04	4	全体的に軽く流して見る
30	男	個人		10:50～10:52	2	最初のパネルを見て、全体の展示は見えていない
30	男	家族連れ		10:56～11:03	7	子どもに解説する
30	女	家族連れ		10:56～11:03	7	子どもに解説する
30	男	カップル		15:15～15:18	3	
35	女	家族連れ	60		5	一度出るが、戻ってくる
35	女	カップル	30	15:15～15:18	3	
40	男	親子	300	14:19～14:25	6	土器に注目
40	男	家族連れ	60	14:37～14:40	3	
40	女	家族連れ	60	14:35～14:38	3	
45	男	家族連れ	180	14:18～14:24	6	土器に強く興味を持つ
50	男	夫婦	410	10:38～10:46	7	

## 2015年

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
70	男	個人	3	12:19～12:21	2	流し見。大型建物の柱の前で少し長く止まる
55	女	夫婦		11:03～11:08	5	祭り・生業の道具に興味を示す。パネルに顔を近づけないと見えない可能性
65	女	グループ		14:18～14:37	19	地図や展示品を見ながら移動。モニターを立ち見
		夫婦		14:01～14:05	4	
65	男	個人		14:17～14:22	5	井戸の中覗き込む
50	男	個人		13:29～13:32	2	地図を見ていた
30	女	子連れ		11:52～11:53	1	
60	男	夫婦		14:07～14:15	8	土器の使用方法や地図などを相談しながら
60	女	夫婦		14:07～14:15	8	見学 拡大地図をじっくり観察
55	男	個人		12:28～12:31	3	拡大地図をじっくり観察
	男	子連れ		12:00～12:02	2	地図の上をグルグル 国道26号線を何回もたどる
10	男	家族連れ 祖父	485	14:38～14:50	12	祖父の解説を聞きながらゆっくり鑑賞
40	女	夫婦		12:32～12:35	3	井戸のパネル以外流し見
30	女	個人	75	14:39～14:44	5	流し見
35	男	個人	5	12:33～12:34	1	
20	男	個人		14:33～14:35	2	時々撮影。木製品に注目
10	男	家族連れ 祖父	190	14:38～14:49	11	祖父子解説を聞きながら鑑賞。映像視聴
25	女	個人	30	12:45～12:45		見渡してすぐに退出
25	男	グループ		12:49～12:51	2	高床式のパネルに注目
30	男	グループ	15	12:49～12:51	2	井戸のパネル以外流し見
60	男	個人	40	14:43～14:45	2	航空写真に注目
20	男	カップル		14:01～14:06	5	後半、女性に付いていた
40	男	グループ		12:30～12:33	3	
	男	グループ		14:19～14:21	2	
30	女	子連れ		14:27～14:30	3	航空写真で家を探す。うろろろする息子を追いかけながら鑑賞。井戸枠に触ろうとする息子
50	女	夫婦		14:17～14:25	8	航空写真をじっくり観察。時々夫が解説。地元の人らしき会話
8	女	個人	30	14:15～14:15		井戸の前で止まる。中を覗こうとするが身長が不足
10	女	グループ		14:03～14:05	2	
10	女	家族連れ		11:20～11:24	4	映像の途中で退出 父はその後ゆっくり鑑賞
40	男	個人		13:07～13:10	3	流し見 井戸に興味を示す
20	女	個人		13:14～13:20	6	農耕具に興味 ベンチに座り知人と談笑
15	女	個人		13:22～13:23	1	1,2か所に数秒滞在 早足で退出
20	男	個人		13:06～13:09	3	モニターをチラ見。井戸の説明を読む。井戸の中覗き込む
50	女	グループ		14:24～14:34	5	
40	女	子連れ		14:15～14:25	10	座って映像すべて視聴。展示は流し見

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
30	男	個人		12:00~12:05	5	キャプション読む。映像素通り
20	女	子連れ		13:26~13:30	4	子供、井戸の説明見る。2人でしゃがみこんで写真を指差し話す。うずくまる
40	女	グループ		13:15~13:20	5	
50	男	個人		11:17~11:20	3	井戸や柱に注目。撮影
	女	個人		13:06~13:08	2	地図に注目。解説は読まない
60	女	夫婦	99	11:03~11:07	4	井戸と地図には興味を示さない
	男	家族連れ 孫		11:22~11:23	1	映像視聴。音声ガイド利用。子供はすぐに退出
40	女	個人		11:24~		映像視聴
10	女	グループ		13:08~13:13	5	しゃがみこんで地図を見る。自宅を確認
40	女	夫婦		13:14~		地図に注目
10	女	家族連れ		14:26~14:29	3	弟に遺跡教える。航空写真で家を探す
65	男	個人		14:17~14:37	20	映像を長時間視聴。所々で撮影
4	男	個人		12:00~12:02	2	模型の前を往復。地図に興味。しゃがむ、大股・小股で歩く
45	男	夫婦	57	13:29~13:32	3	女性は後から入ってきた
65	男	家族連れ 孫		~11:31		音声ガイド利用。子供は途中で退出
50	女	個人	281	11:26~11:45	19	映像をすべて視聴。解説をじっくり読む
15	女	個人	25	13:22~13:23	1	
50	女	グループ		14:17~14:37	20	地図に興味。一通り展示を見た後、もう一度映像視聴
40	男	子連れ	20	12:00~12:03	3	井戸の中を覗く。展示には興味なし
30	女	子連れ		13:27~13:30	3	航空写真に注目。地べたに座る
40	女	個人		13:57~14:03	6	興味を示さなかった
7	男	家族連れ		13:40~13:48	8	航空写真に注目。井戸に興味を示す
60	男	個人		13:37~13:40	3	展示物は見ず、航空写真に注目
40	男	個人		11:35~11:38	3	航空写真とその先にある展示に注目
45	男	個人		11:18~11:20	2	流し見
60	男	夫婦		14:16~14:25	9	航空写真に注目。同じところできれば話し合う。井戸とモニターは流し見
45	男	個人		12:11~12:12	1	井戸に注目。地図、モニターは流し見
10	女	家族連れ 祖父		11:20~11:24	5	音声ガイド使用。映像の途中で退室
50	男	個人		11:35~11:36	1	流し見
50	女	個人		13:33~13:36	3	流し見 井戸枠や航空写真は見ず
50	男	個人		13:44~13:47	3	
30	女	子連れ	180	13:36~13:42	6	航空写真と入口のジオラマ以外興味なし
10	女	家族連れ		13:57~13:02	5	家族で話しながら
30	男	個人		11:48~11:54	6	
10	女	家族連れ		13:38~13:42	4	航空写真に注目
25	男	個人		14:20~14:22	2	
20	女	カップル		14:12:20	5	
60	男	個人		11:22~11:32	10	モニターに注目 時間をかけて見学
45	女	個人		13:29~13:32	2	
40	女	個人		11:00~11:30	30	
60	男	個人			10	

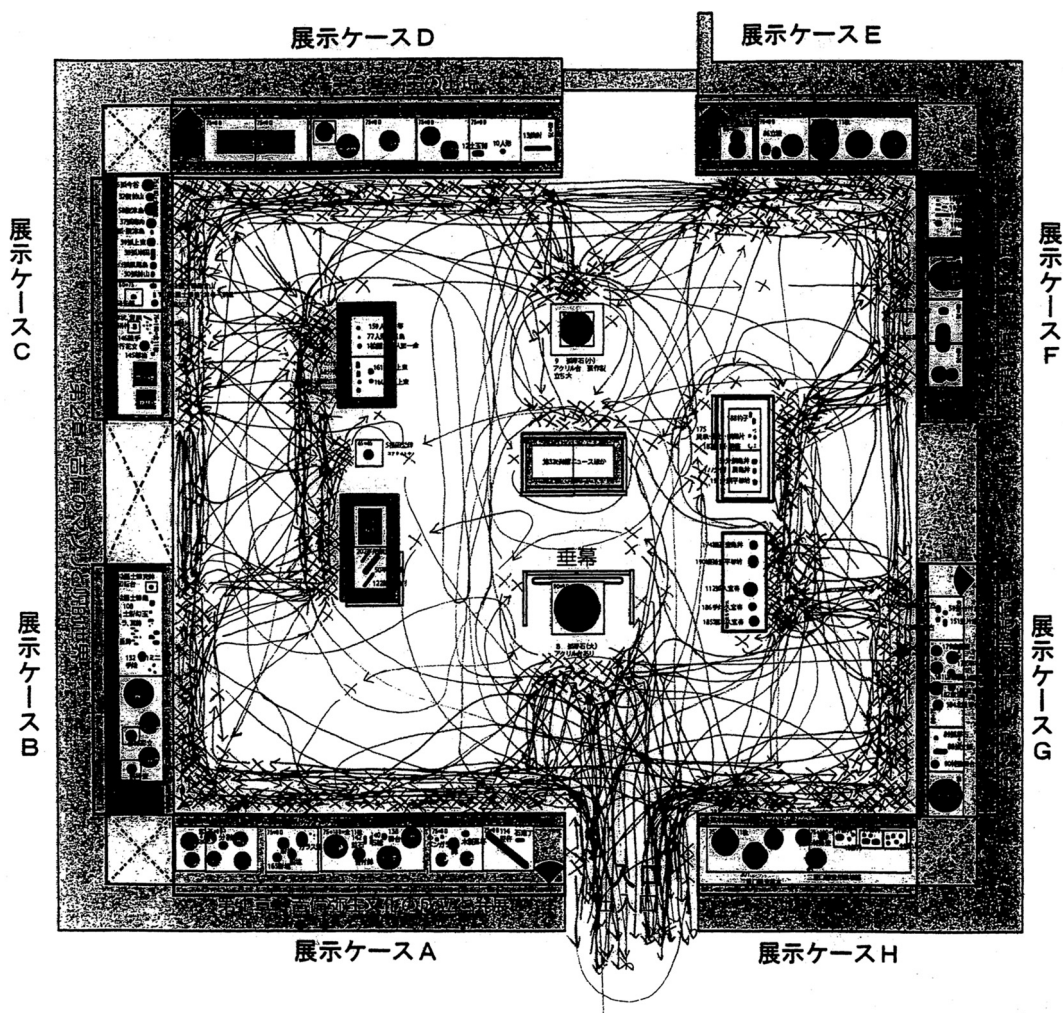


図7 特別展示室（2013年）



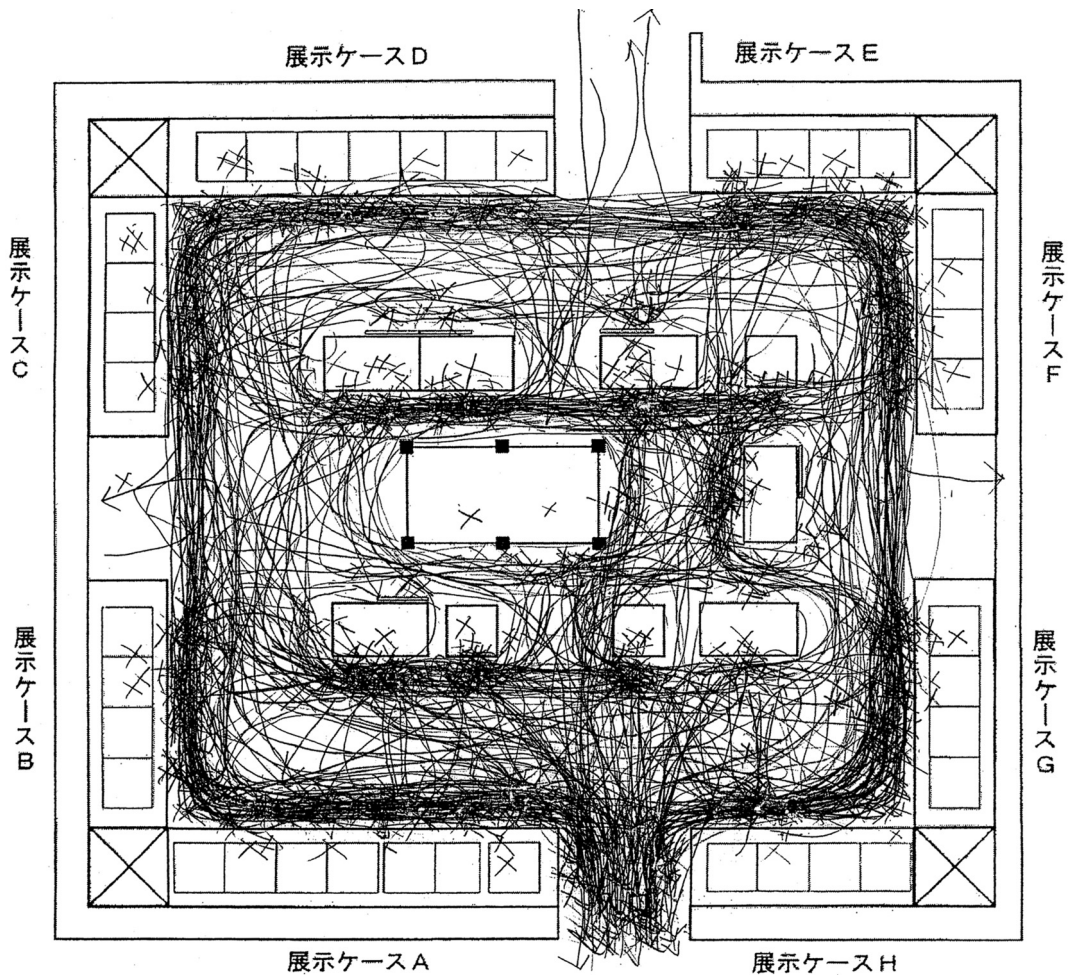


図8 特別展示室 (2015年)

表3 特別展示室の行動観察

2013年秋季

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
70	男	個人	189	13:47~13:52	5	
50	女	個人	120	13:23~13:31	8	
60	女	女性二人連れ	285	13:33~13:40	7	
20	男	個人	0	12:20	0	
50	女	夫婦	157	12:20~12:29	10	
40	女	二人連れ		11:08~12:12	64	丁寧に展示を観察
55	女	夫婦		13:45~13:55	10	逆行
70	男	友人		13:27~13:43	16	丁寧に展示を観察
70	男	個人	1020	13:03~13:21	18	
60	男	個人		12:33~13:07	34	キャプションを熟読し展示物を観察 逆行
70	男	個人	1200	11:46~12:10	24	
70	女	個人	720	13:10~13:26	16	
60	女	個人	360	11:25~11:41	16	
20	女	友人		12:51~13:25	34	
50	女	個人	70	13:50~13:53	3	
50	男			13:36~13:44	8	
60	男	三人連れ 30代男性・50代女性		11:30~12:22	50	
60	男			13:48~13:54	6	
70	男	夫婦		13:50~不明		
46	男	個人		14:18~不明		キャプションを見てから展示物を観察
30	女	親子 60代男性	180	12:02~12:10	8	
25	男	家族連れ 3人	2400	11:30~12:13	43	
50	男	個人		14:10~14:20		途中打ちきり
60	女	グループ	700	12:34~13:00	26	キャプションを熟読し展示物を観察
50	女	個人		12:59~13:13	12	
73	男	個人	3000	12:28~13:28	60	キャプションを熟読し展示物を観察
15	女					途中から
70	男	個人	360	13:42~13:51	9	
45	女	家族連れ 3人		11:31~12:14	43	壺と違ってどこで作ってもこんな形
80	男		415	12:34~12:48	14	
30	女	個人	180		300	記入秒数総計165秒
60	女	二人連れ	480	13:27~13:37	10	見るのはバラバラ
12	女	親子 母	480	13:37~13:48	11	
60	男	個人	816	13:26~13:46	20	
60	男	個人	953	11:45~12:00	15	
30	男	夫婦	132	12:21~12:29	8	逆行 sonyのタブレット知らない
60	男	個人	365	13:16~13:25	9	
40	男	親子連れ 3人	500		14	

2015年春季

60	男	個人	163	13:52~13:57	5	流し見 逆走 展示ケースC, Hに注目。パンフレットを少し見る
3	女	家族連れ		12:27~12:29	2	途中で抱っこされて退場
20	女	グループ		14:35~12:47	12	友人と同行
30	男	グループ		12:50~12:56	6	雑談しながら展示を見て回る
60	男	個人		12:20~12:29	9	逆走。止まったのは一部の鏡と銅鐸
25	女	個人		13:22~13:31	10	展示の経路は考えずに好きなように見て回る。立ち止まって長く見るところも
30	女	個人		11:15~11:36	20	ガラスケースをのぞき込みながらじっくりと展示を見る。解説もしっかり読む。
50	女	夫婦		11:10~11:15	5	展示はまんべんなく見る。入り口のパンフレットをよく見えていた
60	女	個人		13:05~13:14	9	集水木升の周りを見るだけで退出。解説を読む
20	女	グループ		13:21~13:29	8	
30	女	家族連れ		13:29~13:37	8	お母さんが熱心に見ており、子供がそれについていく

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
30	女	個人		12:15～		ものをよく見ている
40	男	個人		11:21～11:26	5	止まったところの解説を読む。一部写真を何枚も見る
6	女	家族連れ		11:12～11:13	1	立ち寄っただけ
30	女	グループ		11:23～11:30	7	話しながらもゆっくり見る
30	男	個人	180	11:49～11:57	8	スマホで調べて見比べる
	男	個人		11:07～11:30	23	入口左のエビログから熱心に見る。解説がないものは短め 鏡に関心。持参の鏡と見比べる
	男	個人		13:05～13:10	5	解説をしっかりと読む
6	男	家族連れ		14:33～14:33		30秒ほどで退出 入っただけ
20	女	グループ		12:40～12:44	4	流し見
45	女	個人		12:45～12:50	1	図録を手に取り、長時間見る。一瞬だけ展示室に入り、手前のガラスケースを見てすぐに退出
40	女	個人		11:57～12:11	14	2周目に突入 撮影
35	男	家族連れ		13:47～14:01	14	子供が興味あるものを一緒に見て回る。解説を時々読む
40	男	家族連れ		11:50～11:59	9	子供の相手をしつつさっと見る。所々パネルを読む
40	女	家族連れ		14:58～15:00	2	来たついでにのぞいた様子。入り口付近のみ見て退出
60	女	家族連れ		14:38～14:48	10	全体的に見て回る。キャプションの前で停止。
45	男	個人		12:42～12:45	3	入口の展示を見てさっと流し見 何かのついでにのぞきに来た様子。
50	男	夫婦		13:32～13:34	2	所々立ち止まるが解説はスルー。中央の展示も
40	女	個人		13:10～13:18	8	展示ケースGには目もくれず退出
55	男	個人	300	11:39～11:50	11	逆走。撮影。帰りに学芸員の方にあいさつ、話して退出
50	男	個人		11:05～11:15	10	解説をしっかりと読む。展示物は流し見
55	男	個人		11:49～12:00	11	ひとつひとつしっかりと見る。説明文読む
55	男	個人	172	13:47～13:53	6	
40	女	家族連れ		13:50～14:07	17	子供はファイル持参。会話しながら
55	女	個人		13:36～13:46	10	
25	男	グループ		12:51～12:55	4	ケースAの卑弥呼の絵。「学校で習った」と話しながら壁の展示はすべて見たが、中央の展示はあまり。
40	男	個人		13:20～13:28	8	
35	女	個人		14:42～14:56	14	パネルに注目
	女	家族連れ		13:45～13:55	10	
35	女	個人		14:38～14:39	1	図録がおいてあるラックを少しだけ、入口に入り、一旦立ち止まって退出
35	男	個人		11:35～11:48	13	ひとつひとつしっかりと見る。キャプションもよく読む
70	男	グループ		11:32～11:34	3	
40	男	個人		11:45～12:01	16	ケースEあたりに何度も行ってよく見ていた。スマホでも何か調べていた
40	女	家族連れ		13:49～14:08	19	最初は家族4人で見ていたが、途中で男女別に。女性2人は早めに退出
40	男	個人		13:26～13:57	31	
40	女	グループ		13:21～13:25	4	団体で見学
40	男	個人		13:10～13:15	5	興味のある部分では時間をかけて見る
50	男	個人		11:20～11:26	6	
10	女	家族連れ		13:50～14:02	12	パネルはあまり、資料を見る。途中で一人。合流したり離れたりを繰り返す
40	男	家族連れ	108	11:54～11:57	3	子供2人連れていたため、ゆっくり回れず。子供が楽しめるものが少ない
50	男	家族連れ		11:43～11:49	6	子供を連れていて大変そうな様子
70	男	個人	152	11:30～11:36	6	音声ガイド使用。河内の大遺跡のキャプションを長く読む。銅鏡。
50	男	個人		13:44～13:53	9	中央の展示を見ず
60	男	個人		12:50～13:00	10	熱心にキャプションを読む展示と、そうでない展示があった
40	女	個人		14:40～14:55	15	立ち止まる回数が多かった
20	男	個人		14:35～14:45	10	3周はしているが見学時間10分

年齢	性別	個人・グループ	ストップ時間 (秒)	滞在時間帯	滞在時間 (分)	備考
30	女	グループ		14:34~14:47	13	まんべんなく見学。女性2人で展示物を見ながら話す。卑弥呼の服装や銅鏡のデザイン、ヒスイの美しさなど目を向ける。出るときに図録をチェック
10	女	個人		12:27~12:42	5	一定のスピードで回る 壁沿いの展示。順路通りに進む 鳥型の展示ケースには目も触れず
30	男	個人	60	11:50~12:09	19	展示をよく観察。卑弥呼の油絵に注目。パネルをしっかりと読む。同じところをぐるぐる回る
40	男	個人	10	11:39~11:40	1	入口の土器を10秒ほど見て足を止めず一周。入口のポスターを見て退出
75	女	個人		12:53~13:28	35	停止時間長い。1、2歩横歩きして止まっただけの繰り返し、展示品のちパネルを見る。ケースA~Hのパネルはスルー、中央のケースはじっくり。1分ほどベンチで休憩
60	男	個人		12:41~12:46	5	ケースC,D見ず。限定的にみている様子
40	男	夫婦	700	14:22~14:37	15	女性は興味がないが、男性興味がある様子 ゆっくり見て回る。逆走
70	男	家族連れ		14:23~14:37	14	孫に説明しながら、孫は関心なし
30	男	夫婦	105	14:06~14:11	5	話しながら
55	男	夫婦	120	14:25~14:29	4	女性はあまり興味がない様子
65	男	個人		14:01~14:17	16	各々の展示をキャプション、パネルも含めてゆっくり見る。2回見たところも
20	男	個人	30	12:18~12:21	3	流し見 一か所だけ立ち止まって
10	男	家族連れ	204	14:25~14:40	15	祖父に説明受けながら、途中で祖母を探しに退出
60	女	夫婦	20	14:15~14:33	18	キャプション、展示物共によく見る。男性がとても詳しい
4	女	家族連れ		12:27~12:30	3	子供が入り口付近でうろうろしてそのまま退出
30	男	グループ		12:25~12:32	7	資料について語りながら回る。時間をかけず、立ち止まりながら観覧
45	男	個人	245	12:13~12:20	7	中央展示はあまり興味を示さず。足を押さえゆっくり回る 足元の矢印見ず。逆順で冒頭のみ見る。退出時ワークショップの質問
30	女	個人		14:24~14:26	2	
35	女	家族連れ		14:28~14:30	2	スタンプを押していた娘が途中で来る
30	女	家族連れ	180	12:25~12:28	3	子連れのためほとんど見れず
70	男	個人	2580	14:10~14:50	40	くまなく見て回る
40	男	個人	145	12:15~12:22	7	
30	女	家族連れ	60			夫がワントンボ遅れて
女	グループ					ゆっくり見て回る
30	女	家族連れ	1230			男性陣が10分ほど遅れてゴール
40	女	個人	735			撮影
30	女	夫婦				女性はじっくり見て回る。男性先に退出
50	男	個人				
男	グループ					中央を見ない
35	男	個人		11:39~11:40	1	人の目を引くようなものの前では少し立ち止まる
35	男	個人		11:50~12:09	19	パネル解説をしっかりと見る

#### 4. 大阪府立弥生文化博物館常設展示リニューアル展示の概要

さて、弥生博は、弥生文化をテーマにする博物館として弥生時代の環濠集落である池上曾根遺跡の一角に建設された。常設展示は「目で見る弥生文化」（第1展示室）と「池上曾根ワールド」（第2展示室）で構成される。

「目で見る弥生文化」は、「米つくりの始まり」「新しい技術の誕生」「ムラ・戦い・クニ」「弥生人」「交流」「死とまつり」の6つの項目からなり、実物資料や複製品、映像をとおして弥生文化についてビジュアルに触れることができる。また、「池上曾根ワールド」では、弥生時代集落であ

る池上曾根遺跡の出土資料を中心に展示する。

さて、これらの常設展示は、昨年春に「卑弥呼と出会う博物館」をコンセプトに、リニューアルオープンされた。その3つのポイントは、①「卑弥呼と出会う」コーナーを新設（リニューアルコンセプトの実現：第1展示室）②池上曾根遺跡のガイダンスを充実（池上曾根ワールドの充実：第2展示室）③より親しめる博物館へ（デジタル機器の配置：各展示室、体験コーナーの集約：サロンなど）である。

第1展示室はその壁面をつたって時系列に弥生文化の発展段階に沿って6項目が設定されたのだが、①はもともとそれらのストーリーをつなぐものとして、中央に象徴的に復元銅鐸を置き、利用者が弥生文化を語り合う「弥生プラザ」という広場として設けられたものであった。その左壁面上には大画面LEDプロジェクターがあり、弥生絵画をモチーフにした6つの項目をつないだアニメーションが流れていた。途中、LEDは通常の動画映像に変えられ、そしてこの度、この展示室中央に「卑弥呼と出会う」コーナーというものになった。

①の展示配置は、古代鏡と同成分の鏡をもつ複製の衣装を身につけた卑弥呼像が展示の中心にある。それをシンボルとして、奥に20面の鏡を展示した「卑弥呼と鏡の世界」、手前の壁ケースに復元食卓や宝箱を展示した「卑弥呼ゆかりの品々」、左には大型映像「邪馬台国の女王 卑弥呼」をそなえる。他に、第1展示室入口のグラフィックの変更、その右奥に「全国弥生遺跡マップ」が設置された。

②については、もともとは、池上曾根遺跡の出土資料と遺跡周囲の大型植生復原図、そして関西空港の開港に合わせて、その関連工事で発掘調査された資料と泉州地域の遺跡展示だった。1995年に、池上曾根遺跡の中央から大型建物と井戸が検出されて話題になったのを機に、泉州地域のもを撤去し、その井戸と柱の複製が展示された。その際に、展示は大味なものとなった。今回は、その池上曾根遺跡のガイダンス展示機能の充実をはかったものである。展示室中央には、7×5mの大型航空写真で池上曾根遺跡周辺の弥生時代遺跡を表示した「弥生遺跡マップ」の床面展示である。池上曾根遺跡の発掘調査、大型建物の復元など3タイトルの映像も加わった。展示室中央に上下から見ることができた大型井戸枠は奥の壁側に移動されたが、低位置からののぞき込みはでき、大型建物と井戸と壁にある大型写真を背景に一体感のあるようにまとめられた。

## 5. 展示室の経年推移

2013～2015年の行動観察表は、展示室毎に表1～3に示した。3年間の全体的な推移をみるために、表4で、詳細がわかるものの推定年齢・ストップ時間・展示室滞在時間の平均、男・個人率、11～15時の観察の内の13時台に展示室に居た利用者を示した。

特徴は、特別展開催していた2013・2015年と特別展後の2014年では大きく異なっていた。利用者そのものは全体に男女比率は同じである。利用者数率は常設展示室がさほど変わらずに、特別展示室に同じような数字で加わる。数は2015年が2013・2014年の倍になる。秋と春の特別展の差になるのか。2013・2015年の特別展期間とその後の2014年のものとは、その利用者の構成が大きく異なる。平均年齢は前者が50才、後者が26才前後である。これは個人利用率が前者では半数を占めるのに対して、後者は家族連れが7割となるためである。2014年は行動観察の中盤に第2展

示室でモックアップをつくり、展示室への入り込みや井戸などでの展示改善案を実習生が示し、その前後で利用者の動線とストップ位置や時間が変わったかという試みを行った。それを考慮に入れても、昼食時間帯は極度に少なかったと言える。ただし、2013・2015年は昼から催し物があったという対比的な関係もある。

さて、ストップ時間は第1展示室が500秒あたりで大きな変化はない。第2展示室120秒前後で同様である。特別展示室は2013年より2015年が628秒から357秒と減っている。また、滞在時間についても同様な傾向を示しており、第2展示室は観察者から床展示の効果が評価されているが、平均値での滞在時間数は少ないままであった。

リニューアル前後の劇的な変化は、特別展示ほどもラのあるものにはなっていなかったと言える。

表4 年次・展示室の行動観察集計

年次	展示室	最大サンプル数	平均年齢(才)	男率(%)	平均個人率(家族連れ)(%)	平均ストップ時間(秒)	13時台入室率(%)	平均滞在時間(分)
2013	第1展示室	33	54	73	48	533	39	19
2013	第2展示室	48	54	54	51	152	43	5
2013	特別展示室	38	51	41	47	628	60	37
2014	第1展示室	34	26	53	18 (74)	679	15	19
2014	第2展示室	21	26	48	14 (71)	127	0	5
2015	第1展示室	69	62	58	49	478	42	17
2015	第2展示室	76	34	49	46	102	29	5
2015	特別展示室	87	39	55	54	357	26	10

## 6. リニューアル前後での変化

上記のことから、全体の数値の劇的な変化は常設展示室ではあまり確認できなかった。

それでは次に実習生の観察所見、記録した動線とストップ位置の集約によるリニューアル変更ゾーンでの利用者の動きなどに、変化が見られるかをみてみたい。

まず、第1展示室での実習生のリニューアル前の全体的な観察所見は、次の通りである。動線どおり、上から逆時計回りの利用者は28、他は4である。エントランスと館全体の入口に近いことも手伝っている。まんべんなく見ている人が多いが、全体を見ないで退出する人も多い。2014年は壁伝いとプラザ映像で分かれる。出口付近の展示コーナーに立ち寄るも、立ち止まらず流し見る人、そもそも立ち寄りずに出ていく人が多い。この途中退場は、メインの見学が特別展や当日行われたイベントにも左右されていると思われる。といったことが、特に指摘されたことである。

さて、リニューアル後の第1展示室の2015年実習生の変更部分の所見をあげる。入口のグラフィックの変更とその右奥に設置された「全国弥生遺跡マップ」では、わずかながら効果がみられた。しかし、堅穴住居などはスルーであった。ネズミの隠れアイテムが加えられているが、さらに音声など、目を向けるような何らかの仕掛けが必要かもしれない。流れは、第1展示室は全体には壁伝いに見学するのは変わらない。卑弥呼の館の大型模型の人気も変わらない。

「卑弥呼と出会う」コーナーは動線が複雑となり、全体に対流する傾向がある。これはねらい通りであろうか。そのため、動線は複雑になったが、ばらけるようになった。卑弥呼像は周囲から見ると、解説はパッシング傾向にある。卑弥呼像を二度見するばあいがあり、この人形と情報PCは効果があったようだ。全体に、銅鏡展示はパッシング率が高く、対面の食卓のケースか、中央の人形かという動線の選択肢のようだが、完全にパッシングされるわけではない。大型モニターの映像はあまり見るものが残念ととらえる。

ゾーンでの動線変化はいかがであろうか。特に、図3を参考にすると、入口のパネル前でストップが増えているようである。「全国弥生遺跡マップ」もストップが増え、竪穴住居とのストップと合わせ、クランク状の歩行軌跡となった。壁通りの傾向は多少、解決している。

①の展示室中央の“卑弥呼と出会う”コーナーは、全体にストップが増えているが、やはり出口側の方にひかれる傾向は変わらない。展示にあきたか、出口に近いからであろう。大型映像前のストップは効果があったようである。中央に関しては、パッシングは減少したようである。銅鏡のコーナーは一工夫いりそうである。

第2展示室での実習生のリニューアル前の全体的な観察所見は、次のようなものであった。2013年の動線は上から逆時計まわりは22、他は25である。導入の時点で、ほぼ自由動線になっている。立ち止まらず流し見る人が多く、また、すべての展示に目を通さない人も多い。井戸を上から見る人が少ない。中央右側の2箇所の島ケースに立ち止まる人が少なく、井戸中心である。2014年は壁伝いにもならず、井戸からの動線を複雑にしている。家族ずれが多いが、滞在時間は短い。井戸の中が多く、2013年（両方）と動線が異なり、2014年は時計回りである。

次に、リニューアル後の第2展示室の2015年実習生の変更部分の所見をあげる。全体にこどもは映像と地図であり、壁伝いではない。②の展示室中央の床面「弥生遺跡マップ」が自由に行動でき、床展示に注目する。一定の効果あげている。展示室を斜めに横切り、動線は乱れる。こどもは井戸にさわり、もたれると言う。

ゾーンでの動線変化はいかがであろうか。特に、図6を参考にすると、入口から奥隅への斜め動線であり床面展示に注目して、壁へばらける傾向がある。リニューアル前の斜め動線とは対照的である。展示室の奥側の誘導には有効であったようだが、実習生の所見と合わせると展示品は触れられているようである。

## 7. 特別展示室の行動観察

2013年の秋季特別展は、「吉備と邪馬台国—霊威の継承」と題して、10月22日から12月23日まで開催された。「吉備弥生文化の成立と発展」「吉備のマツリと呪的世界」「吉備と邪馬台国」という項目である。特異なかたちをした弧帯石が出迎え、岡山の遺跡から出土する特殊土器類を中心の展示である。エンディングは奈良の纏向遺跡や箸墓古墳となる。

2015年の春季特別展は、3月のリニューアルを記念して、「卑弥呼 女王創出の現象学」と題して、5月1日から7月5日まで開催された。プロローグは「二つの顔を持つ女王」、続いて「倭国乱と卑弥呼の共立 畿内弥生社会の実力」「激変のとき 庄内式土器の誕生と巨大遺跡」「卑弥呼の鏡 祭祀と権力のシンボル」「卑弥呼の祭り」、エピローグは「卑弥呼の死と<定型化>する社

会」である。

全体としては、先にも述べたように、特別展示室は秋より春に入室者は倍増したが、反比例して、平均ストップ・滞在時間が半減しており、春の方が止まらずスムーズに流れている。この差はマップの動線にも表れている。

2013年秋の実習生の所見は、動線どおりの上から反時計回りは27、他は11であるが、全体には規則正しい。回った方向のはじめあたりの展示をじっくり見る傾向がある。大きな展示物の注目度が高く、生活用品、装飾品が注目される。まんべんなく見ている人が多い中、全体を見ないで立ち去る人も多い。出口付近の展示コーナーに立ち寄るも、立ち止まらず流し見る人、そもそも立ち寄らない人が多い。

2015年春の実習生の所見は、動線どおりの上から反時計回りは59、他は38であるが、まんべんなく、ムラなく見るというのが特徴である。マップの動線の均等さがそれがよく反映しているが、鳥展示のみという利用者も14である。

## 8. ひとまずのまとめ

サンプルの精度にはかなり難しさがあるが、大きくみて、常設展示の利用者の行動は、個人利用が強い特別展に多少は誘導されるものの全体的な傾向はあまりかわらない。それはリニューアルを隔てても、大きな変化がないようである。これは、常設展示が大枠の骨格で変わらないためであろう。このばあい、マップでの行動軌跡を展示室をより細かく放射状に切ったセクター毎での分析は有効であることは分かる。すなわち、展示の課題はパッシングゾーンを細かに把握して、いかにそのゾーンを無くしていくかが目標として設定され、行動観察もそこに重点が置かれるべきであろう。

一方、特別展示は動線の回り方は制約されるが、鳥展示や大型展示の設定でかなり変化することがわかる。特に、ストップと滞留という面でも展示に特徴が出る。

こうした見通しは、サンプル数で展示の確信を確認していくとともに、モックアップなどの設置で、展示の自信を高めていくことができることが要求されることを予感させる。ただし、この実習では観察のプロ化というよりも、今後も経年変化傾向などを、一般者目線で実習生とともに変化の有無の不変な確信などがもつようなことができればという目標をもちたい。

本稿を成すにあたっては、山口卓也氏はもとより、大阪府立弥生文化博物館 秋山浩三、塚本浩司、中尾智行、柴田妃三光、京都橘大学 鈴木知怜、清野友理、垣内彩那の諸氏諸嬢にお世話になった。記して感謝したい。